



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月10日

上場取引所 大

上場会社名 互応化学工業株式会社

コード番号 4962 URL <http://www.goo-chem.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 池上幸一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長

(氏名) 西川憲一

TEL 0774-46-7777

四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	5,292	△0.3	431	△27.2	467	△25.7	282	△26.1
23年3月期第3四半期	5,308	6.2	593	34.0	629	28.4	382	24.7

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 203百万円 (△33.0%) 23年3月期第3四半期 303百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	42.66	—
23年3月期第3四半期	57.70	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	12,830	10,790	84.0
23年3月期	12,627	10,717	84.7

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 10,773百万円 23年3月期 10,700百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,160	1.4	500	△35.1	515	△38.2	300	△39.6	45.24

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	6,992,000 株	23年3月期	6,992,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	360,544 株	23年3月期	360,544 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	6,631,456 株	23年3月期3Q	6,631,456 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見直し等の将来に関する記載は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(7) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興と原子力発電事故の処理等多くの課題があり厳しい状況が続いております。また、世界経済においても米国市場の景気回復の遅れや欧州債務問題によって長期的な円高が続き、中国やインド等の新興国においては成長が減速する等、先の見えない不透明な情勢となりました。

このような背景のもと、当社グループにおきましては、東日本大震災後から原材料価格の高騰が続いており、さらに長期的な円高の進行と中国経済の減速によって輸出分野を中心に大きく影響を受けました。しかし、顧客第一主義に徹して製品の安定供給と技術サービスに全力を挙げるとともに、製品価格の値上げを実施し利益の改善に努力してまいりました。また、製造経費のコストダウンを図る一方、国内の成長分野に着目し高付加価値製品の開発と、積極的な営業活動により売上高と利益の確保に努力してまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は5,292百万円（前年同期比0.3%減）となりました。営業利益は431百万円（同27.2%減）、経常利益は467百万円（同25.7%減）、四半期純利益は282百万円（同26.1%減）と減収減益の厳しい内容となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(反応系製品)

反応系製品につきましては、合繊維物業界が前期に引き続き、細番手を中心とした高機能性織物が北陸市場の他、中国や韓国におきましても好調に推移いたしました。その中で当社グループは、これらに対応した高性能糊剤・油剤を積極的に販売してまいりました。

化粧品業界につきましては、震災の影響を受け、ヘアスプレーや業務用ヘアセット剤が低迷し、厳しい状況が続いております。その中で当社グループは、シャンプー・コンディショナー分野において高機能性ポリマーの開発と海外市場への展開によって売上高の確保に努めてまいりました。

製紙・印刷関連業界につきましては、出版・パッケージ関連を中心に需要が減少いたしました。ダイレクトメール用圧着ハガキが回復してまいりました。その中で当社グループは、新規顧客の獲得に全力を挙げるとともに、スクリーン印刷技術を応用し、太陽電池関連分野等の新規分野の開拓に注力してまいりました。

その他工業用につきましては、水溶性ポリエステル樹脂が環境にやさしい樹脂として包装資材、光学用フィルム、繊維加工剤等様々な分野に展開を図ってまいりましたが、液晶やフィルム業界の減速によって、国内外ともに不調な内容となりました。

その結果、当セグメントの売上高は4,355百万円（前年同期比2.8%増）、営業利益は708百万円（同10.8%減）となりました。

(混合系製品)

混合系製品につきましては、プリント配線板業界がスマートフォンやタブレット端末等の関係は好調に推移いたしました。自動車が家電製品は震災やタイの洪水の影響を受け、国内や中国市場を中心に生産量が激減いたしました。その中で当社グループはアミューズメントやLED、さらには、タッチパネル等に使用される高機能性インクの開発と新規分野の開拓によって売上高と利益の確保に努力してまいりました。

その結果、当セグメントの売上高は936百万円（前年同期比12.5%減）、営業損失は20百万円（前年同期は営業利益44百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は12,830百万円と前連結会計年度末に比べ、202百万円増加いたしました。

流動資産は前連結会計年度末に比べ353百万円増加し8,522百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金が189百万円増加したことや原材料及び貯蔵品が91百万円増加したこと等によるものであります。

固定資産は前連結会計年度末に比べ150百万円減少し4,307百万円となりました。これは、建物及び構築物が51百万円減少したことや投資有価証券が98百万円減少したこと等によるものであります。

流動負債は前連結会計年度末に比べ119百万円増加し1,563百万円となりました。これは、未払法人税等が163百万円減少したものの、支払手形及び買掛金が306百万円増加したこと等によるものであります。

固定負債は前連結会計年度末に比べ10百万円増加し476百万円となりました。

純資産は前連結会計年度末に比べ72百万円増加し10,790百万円となりました。これは、為替換算調整勘定が58百万円減少したものの、利益剰余金が150百万円増加したこと等によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末から480百万円減少し、当第3四半期連結会計期間末には1,400百万円となりました。

各キャッシュ・フローの概要は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は300百万円(前年同期比32.8%減)となりました。これは主として、税金等調整前四半期純利益459百万円(同26.6%減)に対し、売上債権の増加額197百万円(同2.7%増)及びたな卸資産の増加額137百万円(同17.2%増)並びに法人税等の支払額302百万円(同11.4%減)等の資金減少要因があったものの、減価償却費185百万円(同6.0%増)及び仕入債務の増加額309百万円(同19.5%減)等の資金増加要因があったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は638百万円(同40.7%増)となりました。これは主として、定期預金の払戻による収入3,976百万円(同6.4%減)に対し、定期預金の預入による支出4,495百万円(同2.0%減)や有形固定資産の取得による支出114百万円(同2.3%増)等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は133百万円(同2.4%増)となりました。これは、配当金の支払額133百万円(同2.4%増)によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間につきましては、概ね予想の範囲内で推移しておりますので業績予想の見直しは行っておりません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,117,011	5,155,702
受取手形及び売掛金	1,843,478	2,032,547
商品及び製品	505,222	500,852
仕掛品	201,959	247,524
原材料及び貯蔵品	402,760	494,538
繰延税金資産	73,305	30,109
その他	25,832	61,842
貸倒引当金	△387	△272
流動資産合計	8,169,183	8,522,844
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,723,804	3,726,035
減価償却累計額	△2,767,108	△2,820,556
建物及び構築物(純額)	956,696	905,478
機械装置及び運搬具	5,680,884	5,826,981
減価償却累計額	△5,373,741	△5,447,824
機械装置及び運搬具(純額)	307,143	379,157
工具、器具及び備品	856,282	866,259
減価償却累計額	△821,501	△830,927
工具、器具及び備品(純額)	34,780	35,332
土地	2,097,295	2,097,295
建設仮勘定	130,200	41,695
有形固定資産合計	3,526,115	3,458,959
無形固定資産		
のれん	621	435
その他	56,423	50,836
無形固定資産合計	57,044	51,272
投資その他の資産		
投資有価証券	843,810	745,578
従業員に対する長期貸付金	1,362	1,236
繰延税金資産	15,875	38,869
その他	23,906	21,552
貸倒引当金	△9,899	△10,220
投資その他の資産合計	875,055	797,016
固定資産合計	4,458,215	4,307,247
資産合計	12,627,398	12,830,092

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	978,382	1,284,416
未払金	121,111	138,980
未払費用	10,334	2,276
未払法人税等	166,343	2,653
賞与引当金	111,058	58,420
役員賞与引当金	14,500	10,500
その他	42,061	65,959
流動負債合計	1,443,790	1,563,206
固定負債		
退職給付引当金	341,235	344,020
役員退職慰労引当金	124,788	132,768
固定負債合計	466,024	476,789
負債合計	1,909,815	2,039,996
純資産の部		
株主資本		
資本金	842,000	842,000
資本剰余金	827,990	827,990
利益剰余金	9,480,003	9,630,276
自己株式	△268,187	△268,187
株主資本合計	10,881,806	11,032,079
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	55,367	36,984
為替換算調整勘定	△237,153	△295,755
その他の包括利益累計額合計	△181,786	△258,771
少数株主持分	17,563	16,788
純資産合計	10,717,583	10,790,096
負債純資産合計	12,627,398	12,830,092

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
売上高	5,308,106	5,292,164
売上原価	3,501,284	3,618,862
売上総利益	1,806,821	1,673,302
販売費及び一般管理費	1,213,616	1,241,420
営業利益	593,204	431,881
営業外収益		
受取利息	7,609	6,441
受取配当金	3,885	4,499
持分法による投資利益	38,553	25,958
貸倒引当金戻入額	—	102
受取ロイヤリティ	17,246	12,828
雑収入	9,676	6,375
営業外収益合計	76,970	56,206
営業外費用		
売上割引	5,947	5,139
貸倒引当金繰入額	2,852	466
為替差損	31,679	11,355
支払補償費	—	3,563
その他	480	308
営業外費用合計	40,958	20,833
経常利益	629,216	467,254
特別利益		
固定資産売却益	895	—
貸倒引当金戻入額	2,971	—
特別利益合計	3,867	—
特別損失		
固定資産除却損	1,225	1,566
投資有価証券評価損	—	1,310
持分変動損失	5,894	5,107
特別損失合計	7,120	7,984
税金等調整前四半期純利益	625,962	459,270
法人税、住民税及び事業税	179,102	142,919
法人税等調整額	63,366	33,208
法人税等合計	242,468	176,127
少数株主損益調整前四半期純利益	383,493	283,142
少数株主利益	832	239
四半期純利益	382,661	282,902
少数株主利益	832	239
少数株主損益調整前四半期純利益	383,493	283,142

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△10,083	△18,383
為替換算調整勘定	△29,737	△18,450
持分法適用会社に対する持分相当額	△39,981	△42,974
その他の包括利益合計	△79,802	△79,809
四半期包括利益	303,690	203,332
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	304,494	204,107
少数株主に係る四半期包括利益	△803	△774

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	625,962	459,270
減価償却費	174,944	185,513
のれん償却額	186	186
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△497	364
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△54,766	△52,637
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	6,550	7,979
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△3,500	△4,000
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△5,072	3,059
受取利息及び受取配当金	△11,494	△10,941
為替差損益 (△は益)	683	2,046
持分法による投資損益 (△は益)	△38,553	△25,958
持分変動損益 (△は益)	5,894	5,107
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	1,310
有形固定資産売却損益 (△は益)	△895	—
有形固定資産除却損	1,225	1,566
売上債権の増減額 (△は増加)	△192,201	△197,376
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△117,310	△137,518
仕入債務の増減額 (△は減少)	384,452	309,525
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△17,997	△18,580
未払金の増減額 (△は減少)	△35,582	4,973
未払費用の増減額 (△は減少)	△13,492	△7,508
その他	19,390	16,142
小計	727,926	542,524
利息及び配当金の受取額	61,200	60,957
法人税等の支払額	△341,542	△302,688
営業活動によるキャッシュ・フロー	447,584	300,794
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△112,319	△114,867
有形固定資産の売却による収入	895	—
無形固定資産の取得による支出	△2,360	△340
投資有価証券の取得による支出	△4,375	△4,702
定期預金の預入による支出	△4,586,098	△4,495,410
定期預金の払戻による収入	4,250,000	3,976,430
貸付金の回収による収入	266	266
その他	—	△134
投資活動によるキャッシュ・フロー	△453,991	△638,758
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△130,904	△133,995
財務活動によるキャッシュ・フロー	△130,904	△133,995
現金及び現金同等物に係る換算差額	△11,086	△8,331
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△148,397	△480,289
現金及び現金同等物の期首残高	1,600,494	1,880,581
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,452,096	1,400,291

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

- (5) セグメント情報等
(セグメント情報)

- I 前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 及び包括利益計 算書計上額 (注) 2
	反応系製品	混合系製品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,238,450	1,069,655	5,308,106	—	5,308,106
セグメント間の内部売上高又は振替高	55,556	—	55,556	△55,556	—
計	4,294,007	1,069,655	5,363,662	△55,556	5,308,106
セグメント利益	794,473	44,346	838,819	△245,614	593,204

- (注) 1. セグメント利益の調整額△245,614千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

- II 当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 及び包括利益計 算書計上額 (注) 2
	反応系製品	混合系製品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,355,698	936,465	5,292,164	—	5,292,164
セグメント間の内部売上高又は振替高	42,867	—	42,867	△42,867	—
計	4,398,565	936,465	5,335,031	△42,867	5,292,164
セグメント利益又はセグメント損失(△)	708,359	△20,506	687,853	△255,971	431,881

- (注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△255,971千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。
2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

- (7) 重要な後発事象
該当事項はありません。